

## 第27回 全国ヤングクラブバレーボール大会

### 代表者会議次第

日時：2024年9月8日(日) 18:00~19:00 (web会議)

参加者：チーム代表者【1チーム1名以上の参加をお願いします。】

1名で複数チームの兼任は認めません。代表者が責任を持ってご参加ください。

1チーム2端末まで接続できます。

表示名はチームID+チーム名でご参加ください。例：001 寝屋川クラブ

(1~99のチームは、前に0をつけて3桁にしてください。)

- 挨拶 浅川 又一 会長
- 出席者の紹介 協力社紹介・連絡事項
- 競技の確認事項 大塚 正宣 競技委員長
- 審判上の注意 西中野 健 審判委員長
- 総務委員会から 村上 明弘 総務委員長
- 事務局から 橋爪 裕 事務局長
- 質疑応答 【ルールに関することはレフェリークリニックでお願いします。】
- 閉会のことば 緒方 良 大会副会長  
(公益財団法人日本バレーボール協会 指導普及委員会 副委員長)



大会の成功に向け、皆さまの強力なご協力をお願い申し上げます！！

バレーボールの中の大きな愛を大切にしながら、日本一マナーのよい大会を目指し、  
選手・スタッフ・応援の方々【保護者】・大会役員・大会に関係いただく方々  
皆さんが楽しめる大会になりますように！！

**JYCVF**  
日本ヤングクラブバレーボール連盟

## 【競技委員会】

### 1. 競技規則

本大会は、2024 年度（公財）日本バレーボール協会6人制バレーボール競技規則に基づき実施する。試合は、全て3セットマッチ・ワンボールシステムで行う。

※本大会では、決勝トーナメント決勝を除き、21点制とする。

ただし、3セット目は15点までとし、15点先取とする。

すべての試合においてデューズ制は採用しない。

※給水タイム・テクニカルタイムアウトは設定しない。

（試合前を含め、給水指導の徹底をお願いします。）

### 2. 大会使用球

男子：ミカサ製（V300W）、女子：モルテン製（V5M5000）とする。

大会で使用するボールは大会で準備する。

### 3. 試合間（アップ）の取り扱いについて

試合開始時刻は第1試合のみを設定し、第2試合以降については設定していない。

（追い込み方式で運営）

1日目・2日目とも公式練習は行わない。

試合間：1日目 前試合終了から10分の合同練習後に試合開始とする。

2日目 前試合終了から5分の合同練習後に試合開始とする。

2日目に発生する連続試合の場合：

10分間の休憩（ボールは使用不可とするが、コート上でのアップは可とする）の後、5分間の合同練習を行って試合を開始する。合同練習については、ネットを使用してもよいが、両チームの安全および隣接コートの試合運営に影響を与えないように十分に配慮すること。

**【両体育館にアップフロアを設置しています。ご利用ください。】**

（ボールの使用は禁止します。ダウンでも使用可です。）

体育館（メインアリーナ）内にアップゾーンを設置する。**【館内図参照】**

大阪会場 大阪府立門真スポーツセンター【多目的ホール】

和歌山会場 ビッグホエール【軽運動場】・ビッグウェーブ【武道館】

### 4. 予選リーグの順位の決定方法

予選リーグの順位の決定方法は、①勝率、②セット率、③ポイント率の順で順位を決定する。

※2チームが全て同じ場合は、対戦で勝利しているチームを上位とする。

※3チームが全て同じ場合は抽選で1. 2. 3位を決定する。

### 5. 2日目（トーナメント戦）の組み合わせについて

従来、決勝トーナメントに進出する16チームで抽選を行っていたが、26回大会に引き続き、予選グループ戦の結果（順位）に従い、決められた位置に組み入れる。

## 6. チーム構成

27回大会では、登録選手全員のベンチ入りを認める。

競技中、コート上の6人の選手が同一学校の選手のみとなることは認めない。

(「意図的」・「意図的でない」に関わらない。)

ベンチスタッフはそれぞれの各章を付けること。

※監督・コーチ・マネージャー章は各チームで準備すること。

※部長章【黒】・医師章【赤】・トレーナー章【緑】は大会で準備する。

日本スポーツ協会有資格者は、試合中【業務に支障のない範囲】、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録証をつけること【青：ネームホルダーは大会で準備】。

※公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録証【白いカード】を準備すること。



※カードレスの登録証を選択された方は、JSPPO マイページからご準備ください。

ダウンロード→印刷(67%程度に縮小)→名刺サイズに切る→配布するネームホルダーに。

監督は、監督章を胸部につけ、青のネームホルダーを首からかけます。

【例】部長が有資格者の場合、黒のネームホルダー+青のネームホルダーの2つを首からかけます。

## 7. チームスタッフの変更 ※選手の変更は認めない。

チームスタッフを変更する場合は、所定の用紙とチーム加入選手一覧を提出すること。

チームスタッフの変更は、1日目受付を最終とする。

※試合当日の作業軽減のため、当日の急なアクシデント等による変更以外は、本会議終了後速やかに提出すること。(当日のスタッフ変更は極力避けること。)

[volleyball@email.plala.or.jp](mailto:volleyball@email.plala.or.jp) 【橋爪まで】

チームスタッフの変更は、以下の条件を満たすこと。

※推薦団体に変更の許可を得ていること。

※スタッフは、1名、1チーム、1役職とする。同チーム・別チームの役職を兼任できない。

【同チームの部長兼監督・別チームの部長の兼任等】

※新たに加入するチームスタッフは、ヤング連盟に有効に登録されていること。

※監督・コーチは有資格者であること。

(27回大会では、2024年10月1日に有資格者となる場合は有資格者として認める。)

## 8. エントリー用紙の提出

**今大会においては、大会参加申込選手(1チーム最大18名まで)全員のベンチ入りを認め**

**るため、各試合の「エントリー」用紙の提出は不要とする。**

試合前に記録席において、監督がリベロの申請をすること。

競技者交代の回数は、ルール通り、1セットにつき最大6回までとする。

ライン・アップ・シートは、従来通り、公式ウォームアップ（合同練習）時に提出すること。

会場では配布しないので、事前にHPからダウンロードして利用すること。

## 9. 服装について

選手は統一したユニフォームであること。※リベロを除く

リベロの服装は、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。

ベンチスタッフの服装（JVA ユニフォーム規程）

(1) ベンチスタッフはジャケットを着用するか、スタッフで統一された服装でなければならない。

(2) 部長や監督がジャケットを着用し、その他のスタッフが統一された服装であれば許可される。

(3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。

選手のユニフォーム等について、JVA 公認企業以外のものを着用する場合には予めチームで責任をもってロゴマークが露出しないように処理をすること。

選手・スタッフの服装に関する、マニュファクチャーロゴ・スポンサーロゴ・ユニフォーム広告については、別途 JVA が定める規程に従うこと。

ビブスの使用は認めない。【後述：救済措置における特例を除く】

## 10. 大会日程について 【大会日程参照】

### 【審判委員会】

#### 【審判委員会】

##### 1. コートワイピング

試合中のワイピング（フロアモッピング）については、コート上の選手が携帯したスモールタオルで速やかに行うこと。柄付きモップによるワイピングは、タイムアウト中とセット間は、チームの交代選手もしくはベンチスタッフが行ってもよい。（また、レフェリーが認めるときには柄付きモップによるワイピングを行うことができる。）

##### 2. 選手交代

全試合、クイックサブスティチューション制を採用する。なお、ブザー、ナンバープレートは使用しない。

### 3. リベロ・プレーヤー

- ①チームは2名までリベロを指名することができる。
- ②リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

### 4. 不当な要求

正規の試合中断の要求（タイムアウト・選手交代）に関して、ディレイウォーニングが適用された場合、同じチームによる試合中断の要求は、次のラリーが完了するまで認められない。（けがや病気による選手交代を除く。）

### 5. サービスの許可

コート上に5人だけ、または7人の選手がいるときには6人になるよう、またポジション4にリベロが上がった場合は正規の選手にリプレイスメントするよう、サービスのホイッスルの前に促す。もし、ファーストレフェリーがそのことに気づかずにサービスのホイッスルをした場合、およびラリーが始まったり完了した場合、ファーストレフェリーはそのことに気づいたら直ちに罰則なしにラリーをやり直さなければならない。

### 6. ポジション

選手のポジションは、コート面に接している両足の位置（最後にコート面に接触していた部分）により決定され、コントロールされる。

- ① 各バックプレーヤーは、対応するフロントプレーヤーと同じ位置にいるか、少なくとも片方の足の一部が対応するフロントプレーヤーの前の足よりセンターラインから遠い位置にいないなければならない。
- ② ライト（レフト）サイドの各選手は、同じ列の他の選手のライト（レフト）側から遠くにある足と同じ位置か、少なくとも片方の足の一部がライト（レフト）のサイドラインに近い位置にいないなければならない。

### 7. タイムアウト

タイムアウトは、ボールがアウトオブプレーでサービスのホイッスルの前に、該当するハンドシグナルを示して要求しなければならない。チームの要求によるすべてのタイムアウトは30秒間である。

選手はタイムアウトに入ったら、コートから離れなくてはならない。ただし、その位置について制限はされない。選手は30秒を待たずにコートに戻ってもよいが、タイムアウトの時間が短くなることはない。

### 8. セット間

セット間の時間は前のセットが終了後、次のセットが開始されるまで3分間である。したがって、前のセットの終了後2分30秒でホイッスルをし、スターティングメンバーをコートに入れ、ラインアップを確認する。そのためにセカンドレフェリーは、積極的に次のセットのライン・アップ・シートの提出を監督に要求する。

### 9. 少人数で登録したチームが負傷による原因で不完全なチームになることの救済措置

正規の選手が負傷した時、リベロ以外に交代する選手がいない場合は、リベロを正規の選手として指名して試合を続行することができる。

- ① 登録7名の内、リベロ1名の場合リベロを正規の選手に指名することができる。
- ② 登録8名の内、リベロ2名の場合リベロ2名の内、どちらかを正規の選手に指名することができる。

ユニフォームについては、正規の選手に指名されたリベロが、可能な限り正規の選手と同じユニフォームを着用すること。それが不可能な場合は、ビブスを着用すること。

#### 10. 審判割り当てについて **(役員集合の遅れが試合遅延の大きな理由となっています。)**

担当の試合について、セカンドレフェリー・ラインジャッジ4名、点示2名をチームから出すものとする。大会2日目の役員は、前試合の敗者チームとする。

※ラインジャッジのフラッグについて、大会でも用意しますが、「共用」を避ける観点からチームでご持参ください。(新たに購入いただくまでの必要はありません。)

※大会2日目：1試合目の審判割り当てに注意すること。

(1日目の結果確定後、大会プログラムp16~17を参照すること。)

原則、前に表記されているチームが セカンドレフェリー・点示  
後に表記されているチームが ラインジャッジ とする。

#### 11. 試合前後の挨拶について

試合の前後は、試合に登録された選手全員がエンドラインに整列し、ファーストレフェリーの合図で挨拶をかわした後、握手を行いベンチに戻ることにする。

## 【総務委員会】

### 1. 開会式・閉会式【表彰式】

26回大会では、開会式・閉会式を挙行いたしません。

表彰対象チーム **【表彰対象参照】** は、チーム表彰式を行いますので、試合終了後、全員で本部前に集合して表彰を受けてください。

確認事項：両体育館の表彰は、試合中でもアナウンスを行います。

### 2. 記念品販売について

両体育館で記念品等の販売を行います。皆様のご利用をお願い申し上げます。

ご購入の際には、できるだけおつりのいらぬようにご準備ください。

**【大会日程参照】**

### 3. 本大会協力企業について

(株)ミカサ・(株)モルテン・(株)YTE (株)日本旅行・(株)フォトクリエイト  
(株)ミズノ にご協力いただき、大会を運営しております。

それぞれ売店での販売・展示・写真撮影・写真販売・広告等を行います。

大会後の写真販売を含め、皆様のご利用・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



#### 4. 和歌山市コンベンション事業補助金について

本大会は、和歌山市「コンベンション開催補助金」の交付を受けて実施いたします。

#### 5. チーム表彰・連盟表彰

チーム表彰【1 チーム】本大会に 15 回出場し、大会の発展に大きく貢献  
MARIN の部 女子 出雲バレーボールスクール

連盟表彰【3 県】 日本ヤングクラブバレーボール連盟の発展に大きく貢献

長野県ヤングクラブバレーボール連盟

茨城県ヤングクラブバレーボール連盟

熊本県ヤングクラブバレーボール連盟

## 【事務局】

**※会議中に全てを読み上げません。また、大会参加前に関係者でご確認を！！**

ご不明な点がございましたら事前に「090-8524-1574」まで。

#### 0. 感染拡大予防における対策【本大会最重要課題】

現在も、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染がなくなっておりません。

体調が悪い場合には、無理をしないようにお願いします。

応援について、大会として制限はしません。ただし、皆さんが気持ちよく大会に参加できるようにご配慮をお願いいたします。

また、利用したベンチ等の消毒についてもできる範囲でご協力ください。

#### 1. 体育館の使用について

①館内【指定のフロアー以外】・館外でのアップは禁止いたします。ボールの使用は絶対しないでください。館内通路等でのボール使用について、特にご注意ください。

特に、男子会場【大阪府立門真スポーツセンター】サブコート入り口付近でのボールの使用が目立ちます。

ストレッチや軽いランニング等は指定のフロアーで行ってください。

#### ②ゴミ処理について【本大会重要課題】

本大会指定のお弁当【事務局斡旋】以外のごみは、チームで責任を持って持ち帰ってください。体育館共用部分のゴミ箱、自動販売機のゴミ箱、近隣道路の駅や店舗のゴミ箱や道路・駐車場等への投棄は絶対にやめてください。

#### ③ラクタブドームでのメインアリーナとサブアリーナの往来【保護者・応援の方】について

保護者・応援の方は、2Fメインエントランスから外に出ていただき、

1Fメインエントランスから入場し、サブコートへ移動してください。

保護者・応援の皆様への周知をお願い申し上げます。

**※メインアリーナに続く階段を利用しないでください。【会場案内参照】**

**土足でフロアーに入ることになります。**

④ラクタブドームでのメインアリーナとアップフロアの往来について

**【会場案内参照】**をご参照の上、ご利用ください。

⑤観客席について

皆さんで譲り合ってご利用ください。

体育館内のコンセントの利用は禁止です。【カメラ・ビデオ・携帯等】

お帰りの際には・・・体育館美化、清掃のご協力をよろしくお願いいたします。

※観客席の最前列での応援は禁止します。転落防止のためです。徹底をお願いします。

大阪会場では、観客席の制限を行います。(混雑の状況により解除することもあります。)

⑥指定の場所以外での喫煙・体育館敷地内での飲酒等、絶対にやめてください。

⑦1日目終了時に、体育館内に部の荷物【ボール等】を置いてボール等を置いて帰らないでください。

## 2. 重要な連絡事項及び貴重品管理、忘れ物について

予期できない問題や発表した結果の訂正等、重要な事項は大会HP【登録のメール・携帯電話】を通じて連絡します。代表者は連絡が取れるようにしておいてください。

貴重品の管理については、チームで責任を持ってください。

お帰りの際には、忘れ物のないようにご注意ください。忘れ物につきましては、大会期間中に必ず取りに来てください。なお、大会終了後、事務局で数日は保管いたしますが、その後は処分いたします（飲食物等を除く）。

## 3. 危機管理体制及び傷害保険について

### 【本大会最重要課題】

選手の体調管理・安全について 選手の体調管理には十分ご配慮ください。

(選手にとっては、宿泊を伴い、全国大会の緊張感もあります。)

①本大会では、各会場に**医師・看護師**を配置し、万が一の場合は選手・スタッフ（保護者・役員を含む）安全を守る準備を整える予定です。

②まだ暑い日が続いております。水分補給のご指導をお願いいたします。

③館内フロア及び施設等につきましても、体育館管理者が責任を持って安全性を確認しておりますが、床の傷など安全性に関してお気づきの点がございましたら、直ちに大会役員にご連絡ください。

③ 体育館に到着した際には、チーム【保護者・応援を含む】で非常口の確認をお願いいたします。

④ 各チームで保険の加入状況を確認の上、適切な対応をお願いしているところですが、本大会として、大会中の事故等について、医師・看護師による診察・診断・処置及び団体加入する保険以外、一切責任を負うことができません。各チームにおいて、



ドアからドアまでの保険について事前によくご確認の上、ご出発ください。  
大会中に事故が起こったら、本部に必ずご連絡の上、医師の診断を受けてください。

(保険加入内容)	①死亡・後遺障害	8,440,000 円
	②入院 (日額)	3,000 円
	③通院 (日額)	2,000 円

本大会は、学校を離れた児童・生徒の大会です。重ねてお願いいたします。

#### 4. 集合写真撮影のお願い

(株) フォトクリエイトの協力により、大会終了後、毎年、大変好評の「フォトブック」と「チーム写真パネル」をプレゼントいただくことになりました。

**9月14日(土)午前中にチーム全員【スタッフもご協力をお願いいたします】で指定の場所に集合し、チーム写真を必ず撮影してください。【試合・審判の間をご利用ください】**

チーム写真撮影時、事務局→(株) フォトクリエイトに代表者・選手情報を送っていかどうかのアンケートにお答えください。

#### ☆協議事項①

協力企業への個人情報の取り扱いについて。

【上記記載のアンケートの省略について】

#### 5. 参加証の発行について・IDについて

参加選手・スタッフに参加証を発行しております。今回、大会に参加できなかった選手・スタッフの証書は、必ずご返却ください。不参加に伴う不要なIDもご返却ください。

21回大会から、代表者確認印欄を設けました。部長・監督が、当該選手の参加を確認の上、押印してお渡しくください。

※大会終了後に渡してあげたい!とお考えの部長・監督は印鑑をご持参ください。

#### 6. バス・自動車等での来館について **【本大会重要課題】**

体育館にバスで来館するチームには既に届け出をいただいております、許可証を発行していません。駐車位置はHPに駐車場の位置を掲載しておりますので、お越しになる前にご確認ください。

※体育館との契約上、無断でのバスでの来館は絶対にやめてください。

自家用車でお越しの方【保護者等を含む】は、体育館付近の道路、近隣施設・店舗等での駐・停車は一切禁止いたします。乗降や荷物の積み下ろし作業等は、安全を確認の上、駐車場で行ってください。本件、**不正があった場合は、実行委員会として、推薦した団体及びチームに対し極めて強く抗議いたします。**【ご意見等は事前にお教えてください】

#### 7. 日本スポーツ協会有資格者数/率 審判資格 について **【有資格者数参照】**

第25回大会から、「監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格(コーチ1・コーチ2、コーチ3・コーチ4)のいずれかを有する者とする。」とし、27回大会で実現いたしました。次の目標は、コーチ所属率の向上と、ベンチスタッフ有資格者率100%です。計画的に資格の取得をお願いいたします。

また、審判有資格者所属率 100%も目指しております。審判資格取得をご検討ください。

## 8. 配布物の確認

### 【1日目】

【受付：入館後すぐ受け取ってください。】

チームネームプレート：試合の点示のチーム名として使用します。

ネームホルダー：部長【黒】・トレーナー【緑】・有資格者【青：JSPOのカード】

チーム用プログラム ※申請人数分あるか確認してください。

【試合の合間】8：30頃～12：00頃

配布している役員の状況・混雑状況をご判断・ご配慮の上、受け取ってください。

・プログラム購入分

・参加証

・祈念【記念】シャツ等 プログラムの販売等は、10：00頃を予定しています。

### 【2日目】

【受付：入館後すぐ受け取ってください。】

1日目の試合【予選リーグ戦】のカップを授与します。

全チーム対象ですので、必ず受け取ってください。

## 9. 画像や映像の取り扱いについて【重要】

大会中に公式写真撮影企業や役員が撮影した写真は、今後のプログラムやポスターに使用することがあります。このような利用を拒否される方【チーム】は事務局までご連絡ください。また、本大会に関わる画像や映像を、大会実行委員会に許可なくweb上に公開することは禁止いたします。

【大会参加申込みにあたってのお願い（禁止事項）】から抜粋

web上に、大会に関する映像や写真を掲載すること

ただし、体育館前やポスター等の前で、当該チーム関係者のみが映っている場合は掲載可。

web上に、特定のチームとの試合内容・解説や別チーム・選手の評価等の書き込み

ただし、謝意のみを伝えたり、当該チームや選手が、大会全体を通じて得たこと等は可とする。いずれの場合もチーム責任者が内容を確認し、責任を持つこと。

### ☆協議事項②

ライブ配信について。

## 10. 冷房費の取り扱いについて

残金が少額の場合は、連盟運営関連経費・本大会経費・来年度繰越金として利用したいと考えております。

※冷房費 約10万円/1時間（4会場）



第20回大会の残金で作成した大会バナー 裏には寄贈チーム名記載  
利用しなかった場合は、チーム代表者に残金を現金書留で返金します。

## 11. その他

大会中に問題が発生した場合、ご不明な点・ご不安な点がございましたらご連絡ください。  
090-8524-1574【大会委員長：橋爪 裕】

## 12. お礼とお願い

各地予選、一次申し込み、二次申し込みと、長期間にわたり各種手続き等、お仕事、練習でお忙しい中ご対応いただき有難うございました。ほとんどのチームには、書類等提出前のチェックを徹底していただいております、事務局からチームへの問い合わせが年々減少しております。

また、様々なお考えがある中、例えば、大会幹旋宿泊・お弁当についても、ほぼ全てのチームにご協力いただき、大会全体を通じた安全性の担保はもちろん、体育館内・体育館以外での役員の実務的・精神的負担軽減、今後の持続可能な大会運営のあり方についての課題解決や本大会が向かうべき将来的な目標の実現に向かって、年々前進できているものと考えております。チーム関係者のご理解をまとめていただきました代表者の皆様に、重ねて厚くお礼を申し上げます。また、実行委員会をお願いを快く受け入れていただきました選手・スタッフ・保護者の皆様にも深甚なる謝意をお伝えください。



引き続き皆様の強力なご協力のもと、  
参加チーム⇔役員連携を強め、この発展を持続可能な大会  
となるよう、日本一マナーの良い大会を目標に、

選手の皆様には「もっとバレーボールが好きになる！！大会」

保護者の皆様には「もっと選手やチーム、大会を応援したくなる！！大会」

チームスタッフの皆様には、「資格を取って、もっと高度な指導をしたくなる！！大会」

体育館関係・関係企業の皆様には「もっといい環境をつくってあげたい！！大会」

役員は「皆さんを支えることがもっと誇りに思う！！大会」

と感じていただけるような大会として定着し、予選から関わるすべての人にとって最高の大会が実施できますことを心から祈念しております。